

科学用語から学ぶ日本語

ホルムアルデヒド

ホルムアルデヒドは、炭素と水素と酸素からできている小さい分子です。形はとても単純で、一つの炭素原子に、酸素原子が二重に結びつき、さらに水素原子が二つついています。この物質には、刺激的なにおいがあります。人がこの物質を吸うと、目や鼻が痛くなったり、頭が痛くなったりすることがあります。たくさん吸うと、体に悪い影響が出ると言われています。食品については、日本の法律で使用する事が禁止されています。ですから、食べ物の中にホルムアルデヒドを入れることはできません。安全を守るために、厳しく管理されています。